

自然学習講座

テーマ：水元公園の草花遊び

日時：令和8年3月28日(土) 午前10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人

受付開始：令和8年2月20日(金)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和8年3月8日(日)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。

※ 動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。



少しずつ芽生えてきた春の草花を探し、笹船や風車を作るなど、草花の特性を活かした遊びを行います。

イベント・ガイドウォーク

葛飾区子どもまつり 令和8年4月26日(日) 午前9時30分から午後3時まで

区内の青少年育成に関わる様々な団体が参加するイベントです。水元かわせみの里は、生きもの展示や自然遊びなどを行います。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間 2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	水元五丁目または 大場川下車 徒歩5分
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和8年 2月20日 (通算第227号)



水元小合溜の生きもの:217

フキ

キク科フキ属

全長 10~50cm

花期 3~4月



フキの花。すくすくとのびて白い花をたくさん咲かせる。

春を告げる“フキノトウ”

2月のまだ冬の寒さの残るころ、地表に緑色のマリのようものがポコポコと生え始めます。これは一般に「フキノトウ」とも呼ばれる、フキのつぼみです。地下茎から花茎をのばして葉よりも先に花を咲かせる植物で、春の訪れを告げる植物の一つでもあります。

早春の味覚としても人気

フキノトウは食用にもなり、春の味覚として、昔から山などで好まれてきました。独特の苦みが人気ですが、花茎がのびると苦みが増すため、早春のつぼみの時期が適期とされます。



※葉の一部が変形してできた『苞』と呼ばれる部位。つぼみや花を保護する役割がある。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



2/15 アオジ ヨシ原で食べものを探していた。ヨシの葉を剥き、隠れていたピワコカタカイガラモドキを食べていた。



2/17 カワラヒワ グリーンプラザ付近のアキニレの木に群れて集まり、果実を食べていた。



2/10 ヒヨドリ 水辺のふれあいルーム前の岩場で葉を食べていた。春先になると、新芽を食べる姿がよくみられる。



2/ ウグイス 普段はヤブからほとんど出てこない。冬の間は「ジュッジュッ」と低い声で鳴く。



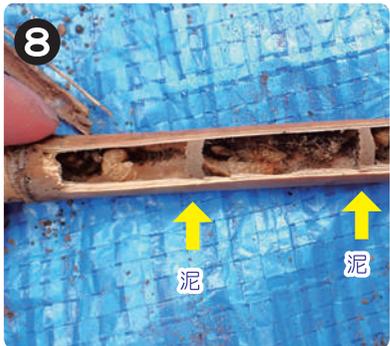
2/10 チビタマムシの仲間 樹皮の隙間などで越冬する様子が見られる。腹部にはエメラルドグリーンの光沢がある。



2/16 キタキチョウ 暖かい日に林床でじっとしている姿が見られた。成虫で冬を越すチョウの一種。



2/17 ウメの仲間 2月初め頃から咲き始める。花を見ていると、メジロや昆虫が蜜をなめに来る様子が見られる。



2/10 オオフトアオビドロバチの巣 ドロバチの仲間の一種が、ササの茎の中に泥を詰めて作った巣を開いた様子。



2/10 トックリバチ類の巣 ドロバチの仲間の一種が泥を固めて作った巣。文字通りとっくりのような形が特徴的。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「年中使えるむしむしハウス」のお話

水元かわせみの里の施設入口には『むしむしハウス』と呼んでいる、石や枝などの様々な自然素材を詰め込んだもの(右写真)を設置しています。こうして作られた狭い隙間は、じっと動かずに冬を越す虫たちが隠れて過ごせる越冬場所となります。



▲木の板とレンガで組んだむしむしハウス

先日、むしむしハウスに、実際にどんな生きものが来ているかをスタッフで調べてみました。すると、ササの茎や朽ち木、石などを詰め込んだところからは、ハエトリグモやヤチグモの仲間、アリの仲間、クロスズメバチの女王、ニホンヤモリなど、様々な生きものたちが見つかりました。

また生きものだけでなく、ササや枝の一部からは、夏に巣を作るドロバチの仲間の巣(8 9)も見つかりました。冬向けに設置したむしむしハウスですが、夏は虫たちの繁殖にも利用されるようです。

むしむしハウスは、緑の減ってきた都内においては特に、生きものたちが命を繋いでいける場所の一つとなります。身近で行える生物多様性保全の例として今後も設置していきますので、気になる方はぜひお家でも作ってみてくださいね。(小林)



ボランティア活動報告

かいぼり後の、野草園のカエル池を整備しました！

今年の1月10日に、キッズボランティアと共にかいぼり(池の水を一時的に抜いて、池底の土を乾かす作業)を行った野草園のカエル池を、2月12日のボランティア活動で整備しました。周辺の枯れ草を刈り、池の中に新しい水を入れ、回収した生きものたちを戻しました。



キッズボランティア活動では、水を抜く前に池の中の生きものを可能な限り採取しました。



池まわりの枯れ草を刈り、次の世代の草本たちが成長できるようにしました。



1ヶ月ほど天日干した池に、新しい水を入れ、採取した生きものを戻しました。



水を満タンにして、かいぼり完了！また水辺の生きものたちが集まりますように！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 2月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

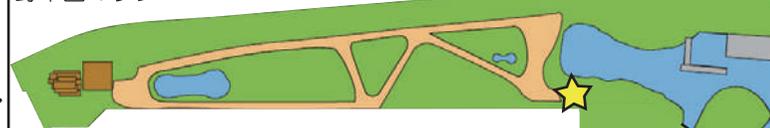
2月の見頃

オオカマキリ (卵鞘)

トサミズキの低い枝にあったオオカマキリの卵。卵を包み込むスポンジは、外敵から卵を守るだけでなく防水や断熱の役割も果たします。4月頃になると数百匹の幼虫たちが一斉に孵化します。また木の幹の高い位置では、ハラビロカマキリの卵が見つかることもあります。



野草園マップ



見られるポイントはココ！